

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	新ひだか児童養育相談センター		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年3月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が通園を楽しみにしてくれていること	子ども達一人ひとりときちんと向き合う。その子のためにどのような関わり・取り組みが良いのかを毎セッション考えている。	今後とも、子ども達の行動・様子をよく見るようにし、アセスメントを元に、どのような取り組みが必要なのかを職員間で考えていく。
2	保護者への子育てへの助言や個別の相談機会の確保	個別支援計画の説明時だけでなく、子どもに課題が生じた際には、保護者の悩みや状況について個別に話を聞くようにしてきた。	保護者の悩みをきちんと聞き、改善に向けての取り組み等について助言できるように職員のスキルアップを図る。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	今年度は建物の改築のため、古い施設を使用しているの運営となっており、最大限修繕しているがバリアフリー化されていない箇所があるなど、建物としての限界あった。	現状の建物としては、修繕等を実施しており、これ以上の変更は困難。	令和7年5月からは新規施設にて運営が実施されるので、バリアフリー化やクーラー未設置問題等が解消される
2	利用されている方への防災計画等の周知が不十分	契約書の内容説明時に避難訓練の実施や、機関誌等でも避難訓練の実施結果等について掲載しているが、認知度が低い。	防災計画・避難訓練の実施について、周知の仕方の工夫や災害時の対応等についてより一層の啓蒙を図る。
3			